

## オレゴン州：小麦作柄と気象状況

2002年10月15日

### 2002年10月13日現在：

前々週に続き気温は平年を下回り、北中央地区では最高気温は66～74度であった。最低気温は12～21度Fを記録した。降水は殆ど無く、カスケード山系の東側では降水量はゼロであった。土壌水分は更に悪化した。

2003年産冬小麦の播種は“stop and go”の状態であり、降雨待ちと言える。州北中央地区の播種の進捗は平年より10日以上遅れている。ウィラメット盆地の小麦播種も平年より遅れ気味である。播種は10月13日現在全州で28%の完了で（昨年：55%、平年：53%）、出芽は8%（昨年：33%、平年：28%）のみで土壌水分不足に因り遅れが目立つ。

### 土壌水分状況：

	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	43	45	12	0
Subsoil (%)	51	39	10	0

### 小麦進捗状況：

	This week	Last week	Last year	5 - yr Ave.
Winter wheat				
Seeded (%)	28	22	55	53
Emerged (%)	8	4	33	28

Source: Oregon Agricultural Statistics Services

2002年8月1日付け農務省発表の冬小麦の生産量予想では、7月1日と全く同じである。単収40.0bu/ac(6月1日：47.0bu/ac)、収穫面積750,000エーカー、収量30,000,000ブッシェルである。春小麦の生産量予想は、7月1日より下向修正となり、単位収量：25.0Bu/ac(7月1日：27.0bu/ac、昨年：30.0bu/ac)、収穫面積予想：155,000エーカー(昨年：175,000エーカー)、収穫量：3,875,000ブッシェル(昨年：5,250,000ブッシェル)となっている。